



# 『東北圏だより』

## 防災公共推進事業について

青森県 企画調整課

青森県では、大規模災害が発生した場合に、人命を守ることを最優先に、「孤立集落をつくらない」視点と「逃げる」という発想を重視したハード・ソフト一体となった防災対策を推進するため「防災公共推進事業」を実施しています。

具体的には、平成21年度から、岩手・宮城内陸地震を教訓に、大規模地震発生時に起こる津波・土砂崩れなどの災害を想定し、孤立（集落（または避難所）から役場（または支所）へのすべてのアクセス道路に危険箇所が隣接し、その危険箇所がすべて被災した際に、道路交通による流通が不可能となる状態）する恐れのある集落の把握とその解消策の検討を行いました。

また、平成23年度には、東日本大震災を教訓とし、さらに全国各地で集中豪雨による災害が頻発していることから、地震・大雨などの災害全般に対応できる防災対策の実施が必要との観点に基づき、各施設管理者が所管している大雨災害に関わる危険箇所を集積し、大雨災害時の課題把握を行いました。

さらに、平成24年度においては、孤立集落の解消策として場外離発着場の条件に合致する臨時ヘリポートの候補地を選定したほか、過年度の調査結果や各種調査結果を基に、「防災公共推進計画」の策定に着手しています。

「防災公共推進計画」においては、大規模災害時の想定危険箇所情報の面的、横断的な共有による現状認識の統一や現状の避難経路・避難場所等についての総合的な課題の洗い出しを行い、最適な避難経路、避難場所を市町村、県が一体となって地域ごとに検証し、現状に即した最も効果的な避難経路、避難場所を確保するための重点的インフラ整備対象を設定、横断的連携により、効果が早期に発現される整備手法の選択を行っております。

青森県においては、大規模な自然災害等に対し、被害を防止又は最小限に留めるための施設整備や管理を推進するとともに、ソフト対策も併せた総合的な災害対策の推進に加えて、地域防災力の向上を図り、安全で安心できる青森県の実現に努めていくこととしています。



## ▲防災公共推進計画の事例

## 東北地域の効率的な国際物流の実現に向けて

東北地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室

平成25年3月26日、仙台国際ホテルにおいて「東北国際物流戦略チーム第7回本部会」を開催しました。

東北国際物流戦略チーム（事務局：（社）東北経済連合会、東北運輸局、東北地方整備局）は、県境を越えた広域連携により効率的な国際物流の実現を図るとともに、国際物流の面から産業の競争力向上によって地域の活性化につなげることを目的に、新潟を含む東北7県の産・学・官の関係者が委員となっています。全国に先駆け宮城県内において実用化された「45 f t 国際海上コンテナ」については、戦略チームで実証実験を行い安全性を確認し、その成果を受けて実現したものです。

第7回本部会では、平成24年度の調査・取り組み状況を事務局から報告し、平成25年度の取組方針の提案を行いました。平成25年度は、引き続き工業団地等での出前説明会開催や45 f t 国際海上コンテナの利用拡大の取り組みを進めるとともに、新たな取り組みとして、①荷主企業の方々からの要請が強い「北米航路のファーストポート化」、②東北地域が高いポテンシャルを持ち、また、政府の輸出拡大の方針を踏まえた「東北地域の農水産品等の輸出拡大」、③極東ロシア航路の維持・育成への期待が大きい「極東ロシア向け外資コンテナ貨物の集荷・輸送」の3つの課題について検討を行うこととしています。



▲東北国際物流戦略チーム第7回本部会

↓本部会の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://www.pa.thr.mlit.go.jp/kakyoin/better/better005.html>

## 推進室の一員となって

東北圏広域地方計画推進室 総括副室長 須田 健介

（東北地方整備局 建政部 建設産業調整官）

4月1日付で総括副室長に着任しました須田と申します。3月までは本省国土政策局総合計画課で国土形成計画（全国計画）の業務に携わり、東北圏との関連では、昨年度、国土政策フォーラム（国土づくり、地域づくりへの地域住民の参加や情報発信等を通じて、国土政策の一層の推進を図ることを目的に地方自治体と共催で実施）を岩手、宮城（南三陸町）、福島（南三陸町）の3県で共催いたしました。フォーラムでは、復興をキーワードに、災害に強いまちづくりや空港を核とした地域づくりなどについて情報発信をしていただきました。共催自治体の関係者並びにフォーラムにご参加いただいた皆様には大変お世話になりました。御礼申し上げます。これからは推進室の一員として東北圏広域地方計画の業務に携わることになりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

先日、三陸沿岸部の被災地に行きましたが、今も残る大震災の被害の大きさを改めて認識いたしました。被災地の一日も早い復興を願います。

関係機関の皆様には、東北圏広域地方計画で示された将来像の実現に向けた各種施策の展開・具体化を推進していただくとともに、東日本大震災を通じて得られた数多くの教訓・課題をとりまとめた教訓集の作成や、計画の見直し作業など、協議会活動にご尽力をいただいております。感謝申し上げます。東日本大震災からの復興及び東北圏発展の課題解決に向けて、皆様とともに計画の推進に取り組んで参りますので、今後とも引き続きご協力をいただきますようお願い申し上げます。

## 編集後記

ゴールデンウィーク10連休の方もおられたものと思いますが、旅行やレジャーでリフレッシュできましたでしょうか。NHK連続テレビ小説の今期の舞台が岩手県久慈市（設定上は北三陸市）ということもあり、久慈市周辺は大変な賑わいだったそうです。脚本をはじめキャストにも東北出身者が多く、東北人としては今後の展開を大いに期待したいものです。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。

メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp